図書委員会広報班

2024年 12月号

LaLaLa Library

『か「」く「」し「」ご「」と「」』

作,住野よる

みんなには隠している,少しだけ特別な力を持った
高校生の5人。
この物語はそんな高校生たちの何気ない日常が
それぞれの視点に変わりながら書かれています。
"日常"には悩みも多く存在します。彼らも様々な悩みや
かくしごとを抱えています。
もしかしたら、特別な力があるんだから、悩みなんてないん
じゃないのかなと思うかもしれません。
しかし,この特別な力は完全ではないんです。
だからこそ,そこからうまれる勘違いやすれちがいも…。
でも,なぜかとても共感してしまうんです。
「かくしごと」は誰しもがもっている当たり前の中で
精いっぱいに日常を過ごす5人には絶対に共感できる
作品です。
彼らの爽やかな青春をぜひ体験してみてください!!

師走の候、寒さが一段と厳しくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。12月も半ばを過ぎ、今年もいよいよ終わりに近づいて来ましたね。図書館では年末年始のお休み前に、少しでも心を和ませるような本をご用意しています。どうぞ読書の時間をお楽しみください。

『アリアドネの声』作、井上真偽

『アリアドネの声』は、幻想と現実が交錯する中で、自分自身と向き合い、孤独や希望を探る物語。迷宮を旅する主人公の姿が心に響きます。あなたは「無理」という言葉について考え直すでしょう。

『流浪の月』作、凪良ゆう

『流浪の月』は、心に傷を負った2人が出会い、常識や偏見に囚われない特別な関係を築く物語。静かに心に染み入る物語です。あなたはアイスクリームを夕食にすることの何がダメか答えられますか。

『方舟』作、夕木春央

『方舟』は、山荘で起きた密室殺人事件を描く本格ミステリー。巧妙な伏線と緊張感あふれる展開、そして衝撃的な結末が読者を魅了します。ところで、一番苦しい死因とは何だと思いますか?